

# 赤坂だより

やさしさと思いやりのある子 よく学びよく遊ぶ子 心と体をきたえる子

## 実りある2学期に～切磋琢磨～

校長 曾根 節子

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。子供たちの元気な声が校内に響き、学校らしい活気が戻ってきました。夏季水泳教室や補習教室、夏季学園（5年）、海外派遣（6年代表）や地域行事等大きな事故もなく始業式を迎えられたことをうれしく思います。保護者や地域の皆様のご指導とご協力に感謝します。

5年生の2泊3日の箱根ニコニコ学園では、キャンプファイヤーや肝試し、芦ノ湖畔ハイキングなど多くの楽しい思い出を作ることができました。一つ屋根の下で同じ釜の飯を食う経験の中で子供たちは自主性や自立・自律心、協調性など人として大切な基盤をしっかり身に付け、成長した3日間でした。

この他にも地区委員会主催のみなとキャンプや赤坂総合支所主催の郡上田舎体験教室等自然やさまざまな人とのふれあいを通じて貴重な体験をした子供もいます。お世話いただいた皆様に御礼申し上げます。

ところで、8月29日早朝の緊急ニュースには驚きました。いざというときに迅速に的確な判断で動けるよう教職員に周知し、児童にも指導してまいりたいと思います。今後平和な世界に向けてよい方向に向かうことを祈りつつ、ぜひ各ご家庭でも緊急対応について話し合っておくとよいと思います。

さて、実りある2学期にするために始業式では、全校児童・教職員に向けて「切磋琢磨」という四字熟語の話をしました。

中国で最も古い「詩経」という詩集の中にこの「切磋琢磨」という言葉が書かれています。

骨や石など固いものを削ったり磨いたりすることは大変な作業です。手間をかけて丁寧にやらなければなりません。勉強やスポーツに励んだり人として大切な事を学んだり友達同士競い合って励まし合って自分を磨いたりすることを「切磋琢磨」というようになっていきます。＜参考文献：広辞苑（岩波文庫）＞

私は、卒業生に書いてほしい言葉を色紙にしたためてプレゼントしていますが、この四字熟語は、毎年数人に書いて贈っています。

自分だけで目標に向かって努力するだけでなく友達同士でよい意味で競い合うことでさらに自分の得手不得手や長所短所を知り、目指す課題が見えてきて、具体的に課題に向かってさらに努力することでよい結果につながっていくことを話しました。

夏季休業中に、11月17日（金）の研究発表会に向けて教職員は、新学習指導要領を読み、切磋琢磨して本校のこれからの教育について議論しました。2学期以降の子供たちの変容が楽しみなこの頃です。

## 月行事予定

1	金	始業式 防災訓練	▲
2	土	土曜授業	▲
4	月	全校朝会 委員会 安全指導 発育測定5・6年 給食開始	○
5	火	発育測定3・4年	○
6	水	B4 水泳記録会6年	▲
7	木	体育朝会 全体会・保護者会(下) 発育測定1・2年	▲
8	金	全体会・保護者会(上)	▲
11	月	全校朝会 ファミリー遊び	▲
12	火	社会科見学4年	○
13	水	B4	▲
14	木	児童集会(ユニセフ)	▲
15	金	水泳指導終 社会科見学5年	○
16	土	土曜授業	▲
19	火	全校朝会	▲
20	水	B5	○
21	木	音楽朝会	○
22	金		○
25	月	全校朝会 クラブ活動	○
26	火		○
27	水	B5 プラネタリウム4年	▲
28	木	児童集会	○
29	金	通常時程5校時(掃除なし)	▲

▲は放課後遊びなし、○はあります。



## 9月の生活指導目標

「落ち着いた生活をしましょう。」

生活指導部 新津 翼

「落ち着く」という言葉を辞書で引いてみると、「人の態度や言動が穏やかで冷静である」「周囲のものと調和して、こちらの気分が休まる」などの意味が書かれています。

「落ち着きなさい」と声をかけたことがある人は多いと思います。しかし、言葉の意味を考えると、一言に落ち着くといっても、簡単そうに見えてとても難しいことです。ではどうすればよいかと考えてみると…。「なぜ」落ち着くのか、落ち着かなければいけないのか、落ち着くことによってどのようなメリットがあるのかを丁寧に伝えていくことが必要なのではないでしょうか。学校でも家庭でも、丁寧に伝えるには時間が必要ですが、時間をかけて落ち着くことの意味を伝える価値は十分にあるのではないのでしょうか。

## 夏季学園

5年2組担任 山崎 良弘

8月26日～28日に、3年ぶりに復活した箱根ニコニコ高原学園に行ってきました。初めての宿泊行事とあって、期待いっぱい、不安いっぱいの3日間でした。

学園では、生活班単位で行動し、班長・副班長、食事係や整美係などそれぞれが任された仕事を立派にこなして生活することができました。なかでも、キャンプファイヤー係は1学期の終わりから、1日目のキャンプファイヤーと2日目の肝試しの準備に取りかかりました。頑張りの甲斐あって、ビンゴあり、フォークダンスありのキャンプファイヤーは大いに盛り上がりました。また、肝試し大会でも館内のあちこちで悲鳴が上がり、大いに盛り上がっていました。

学園外では、ハイキングに遊覧船に、箱根の美しさに触れることができました。また、木の実クラフトづくりでは貴重な体験をすることができました。

初めての宿泊は、元気いっぱい、成長いっぱいの3日間でした。この経験を2学期以降の学校生活に生かして行ってほしいと思います。



## 委員会活動について

特別活動部 谷口 陽子

学校生活では児童がよりよい学校づくりをするために、様々な活動に取り組んでいます。その一つとして、委員会活動があります。5、6年生が前期と後期、9つの委員会に分かれて活動しています。

今年度は広報委員会が新しく発足し、学校新聞を毎月発行しています。階段に掲示していますので、是非ご覧ください。

代表委員会	学校行事の運営・進行 学校生活の向上
広報委員会	学校新聞作成
環境整備委員会	節水・節電の呼びかけ エコキャップ集め
保健委員会	水質検査 石鹸補充 手洗い・うがいの呼びかけ
栽培美化委員会	植物の栽培・世話(水やりなど)
図書委員会	図書室の整備 本の整理 読書週間の呼びかけ
集会委員会	集会の企画・運営・進行
放送委員会	朝の放送、下校の放送
体育委員会	体育倉庫の整備 体育行の運営



## 田舎の夏休み体験教室 ～岐阜県郡上市での2泊3日～

8月8日～10日の2泊3日で、赤坂地区総合支所主催による「田舎の夏休み体験教室」に参加しました。赤坂、青山、青南小学校の4～6年生から希望者を募り、本校からは26人が参加しました。水の都として知られ、夏の間毎日盆踊りが行われる郡上の城下町は、小京都として名高く、赤坂・青山地区とは歴史的に深いつながりのある地域です。

台風の影響が心配されましたが、8日は天候が回復し予定通り出発。現地では大雨警報が発令されていたために、残念ながら八幡小学校の子供たちとの交流は中止となりましたが、雨上がりで涼しい城下町をゆったりと散策しました。また夜は、浴衣を着て郡上踊りに参加しました。

2日目には川の増水もあり、安全を考慮して例年より下流でのラフティングでした。長良川は濁った水で清流の面影もありませんでしたが、「きれいで穏やかな川だけが自然ではない。」というインストラクターの言葉どおり、自然の素顔を見せつけられるラフティングになりました。夜は郡上の方々のお宅に宿泊する民泊体験でした。庭でバーベキューや流しそうめんをしたり、小川で遊んだり、赤坂では体験できないことばかりで、大きな思い出になったようです。

楽しさの中にも学年や学校を越えた絆が生まれ、東京駅に着くころには真っ黒に日焼けし、一回り大きくなった子供たちの笑顔がありました。

